島根県在宅保健師等の会

「ぼたんの会」

会報
第23号
令和８年９月発刊

事務局：島根県国民健康保険団体連合会　事業課保健事業係
〒690-0825　島根県松江市学園一丁目７番14号　TEL 0852-21-2112/FAX 0852-21-2164
E-mail:jigyou@shimane-kokuho.or.jp　ホームページ https://www.shimane-kokuho.or.jp



設立25周年特集号

祝賀会の様子

「25周年～地域住民に笑顔と輝きが届けられる活動を目指し続けて～」

島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」
会長　永江尚美



今年は、地震の頻発、住宅及び山林火災の頻発、猛暑・酷暑の継続等々、私たちの生活にも影響を及ぼす状況に懸念を感じているところです。とりわけ７月28日に発生した令和８年熊本地震及び８月13日からの令和８年８月千葉豪雨においては、甚大な被害をもたらしました。被災地の自治体及び生活者の皆様にお見舞いを申し上げます。

去る５月15日に令和８年度総会を開催し、令和８年度事業案・予算案について承認を頂きました。新たに迎えた新役員の皆さんと共に、会員の皆さんのご協力を得て事業計画を推進していく所存です。

「ぼたんの会」は今年で25周年を迎え、総会に続いて25周年記念式典をホテル白鳥において、多くの来賓のご臨席を賜り、会員の皆様と共に開催することが出来ましたことに感謝を申し上げます。25周年の歩みは、国保連合会・島根県・市町村のご支援ご協力はもとより、会員の皆さんが一年一年積み上げてこられた地区活動の歴史でもあります。「ぼたんの会」の活動は地道ではありますが、自治体からの新たな協力要請にも応え、「市町村の保健活動を補完する事業の支援」や「フレイル対策における新規事業（フレイル測定会）」等への支援も始めています。

地域住民に笑顔と輝きを届けられるように、会員自らの健康維持とやりがいを持ちながら、地域の保健活動に寄与してまいりたいと考えております。

そして、30周年に向けて、私たちの活動が後輩に語り継げられるように、誇りをもって一歩一歩踏み出したいと思います。

「ぼたんの会」設立25周年記念式典

令和8年5月15日、松江市「ホテル白鳥」において、会員、来賓等約60名が出席し「ぼたんの会」設立25周年記念式典を挙行しました。

主催者挨拶

式典冒頭、永江尚美会長が主催者挨拶。「会員の皆さんが一年一年積み上げてこられた地区活動の歴史として、25年の深さを感じている。今後も、生涯現役で健康長寿の推進役として、住民に寄り添いながら地域づくりの一翼を担っていきたい」と語られました。



来賓祝辞

丸山達也島根県知事からの祝辞を石原恵利子島根県副知事が代読。「県・市町村・関係機関が行う保健活動をはじめ、災害や新興感染症に対応するため新たに締結した『健康危機における協力に関する協定』においても、支援いただけることを力強く感じる。引き続き、県の施策に対する一層の理解と力添えをお願いしたい」と協力要請されました。





続いて山本浩章国保連合会理事長が登壇。「『ぼたんの会』は発足当初から地域に根ざした保健活動を積極的に展開され、地域住民の健康づくりや生きがいづくりに大きく貢献いただいている。国保連合会としても、それらの活動が引き続き円滑に行われるよう支援していきたい」と述べられました。

感謝状贈呈

この後、「ぼたんの会」役員として会の発展に尽くした会員及び地域で健康づくりに貢献した会員へ記念品と感謝状が贈呈されました。続いて、長年「ぼたんの会」を支えてくださった会員へ敬意と感謝の意を込め、感謝状が贈呈されました。







《来賓の皆様》　（敬称略）

島根県知事（代理）　副知事	石原　恵利子
島根県健康福祉部長	周山　幸弘
島根県健康福祉部医療統括監	谷口　栄作
島根県健康福祉部医療統括監（健康推進課長）	村下　伯
島根県健康福祉部健康推進課統括保健指導監	橋本　久美
島根県保健所長会副会長 （松江市・島根県共同設置松江保健所長）	片岡　大輔
島根県市町村保健活動協議会会長 （浜田市健康医療保険課健康増進担当課長兼統括保健師）	紀　みどり
島根県国民健康保険団体連合会理事長	山本　浩章
島根県国民健康保険団体連合会常務理事	仁科　慎治郎
島根県国民健康保険団体連合会事務局長	山根　良平

記念講演

全国の保健活動の情勢及び在宅保健師に望むこと

公益社団法人日本看護協会の勝又浜子副会長による記念講演が行われました。

勝又氏は講演の冒頭に、本日5月15日、「地域における保健師の保健活動について」（保健師活動指針）が全改定され、厚生労働省から発表されたと紹介されました。２０４０年を見据えた人口構造や社会環境の変化に対応するための人材育成や、持続可能な保健活動の推進を目指す内容となっており、ご一読いただきたいと話されました。



保健師活動の中核的な機能は「地域住民が主体的に個人及び地域の健康状態の改善、保持、増進にむけて行動することを支援する機能」と「保健サービスの提供にとどまらず、健康課題の把握、企画立案、評価、地域の社会資源の開発等『地域保健活動』を推進する機能」の２つであると話されました。

市町村においては、保健師が分散配置されている中で、組織横断的な取り組みを進めるためには、「①保健師を技術的に指導調整する統括保健師を配置すること②地区担当制を敷くこと③地域を〝見る、つなぐ、動かす〟の３つの能力を持つこと」の３点が保健師として、今も昔もこれからも必要であると述べられました。

「２０４０年は少子超高齢化の中で、特に85歳以上の高齢者が増加し、要介護認定率が上昇した結果、在宅医療や訪問看護が増加することが想定されます。そのような中、保健師は２０４０年に向けて地域包括ケアの推進を図るために、看護職同士の連携やネットワークづくりに貢献していくことが重要です」と締められました。

今後の社会が抱える課題、看護教育の現状、医療体制の未来像、そして保健師に求められる能力等、非常に参考となる講演となり、会員一同、今後も地域保健の向上になお一層貢献することを決意しました。

祝賀会

式典終了後の祝賀会には、来賓や会員総勢41名が参加しました。星野会員（松江地区）のハーモニカ演奏、加茂幹事（出雲地区）のオカリナ演奏に耳を傾け、楽しいひと時を過ごし、「ぼたんの会」設立25周年の喜びを分かち合いました。



会員表彰

「ぼたんの会」役員として会の発展に尽くした会員、地域で健康づくりに貢献した会員及び長年会を支え活動してきた会員へ敬意と感謝の意を込め、計47名に感謝状が贈られました。受賞にあたって、３名の会員からメッセージをいただきましたのでご紹介します。

役員として貢献された方



大田地区　森山　隆子 さん

広報委員及び地区役員として活動。現在も地域のサロン活動の支援、地区活動にもいつも笑顔で積極的に参加されています。家庭ではお孫さんの塾や習い事の送迎も一手に引き受け、多忙ながらも充実した日々を過ごしておられる頼もしい先輩です。（紹介文：安野　怜子）

地区幹事、広報委員を少々させていただいただけでこれといった活動もしていない私が表彰。申し訳なく、気恥ずかしい気持ちでいっぱいです。広報委員をさせていただく中で、広報の役割の大切さを感じました。会報は年１回の発行ですが、会員の皆さんに興味深く読んでいただける内容にしたいと委員が話し合いを行います。中でもそれぞれの地区での活動報告は楽しみに読んでいただけたのではないかと思っています。地区活動の参考になり、また励みにもなります。表紙も会員の作品を使用するなど発表の場となっております。会報は紙上における会員同士の交流の場でもあります。今後も委員の皆様のご活躍を期待し楽しみに読ませていただきます。最後に任期中、原稿等各種のお願いに快諾いただき心より感謝いたします。有難うございました。

地区活動に貢献された方



出雲地区　森山　佳江 さん

いつも笑顔で、気さくに声をかけ、色々な方々と輪を広げられる魅力的な方です。地域活動のお手本ともいえます。継続するための仕掛け、「みんなの総意で取り決め」「役割を皆が持つ」そして「記録を残す」現役時代の学びを今でも活かしておられます。パッチワーク、つるし雛、詩吟など趣味も多彩な森山さんです。（紹介文：勝部かつこ）

私は県を定年退職した後松江市で約４年勤務し、その同時期（2011年）にぼたんの会に入会しました。

ぼたんの会は私にとって、①新しい知識や健康づくりの実際を学ぶ場　②会員交流の場となっています。

県下、益田保健所以外の６保健所で勤務した私は、あちこちで地域住民の方々に育てていただきました。地域の方の生活状況や考え等を学べたことは、私の財産となりました。

そのような体験をとおし、②についてぼたんの会では、苦楽の思い出を語るとともに、現在の会員によるそれぞれの活動を知る機会となり、大いに刺激されています。

24時間地域でどっぷりと生活する住民となって約12年、地域にお返しする年代真っ只中です。私はこの地で健康づくりに限らず、地域や町内での取り組みや個別訪問等ささやかながら取り組んでいますが、お返しとなっているでしょうか？

因みに私が住んでいる所は、2027年（令和９年）に全国２例目のトキの放鳥が予定されている出雲市稗原地区です。

（人口1,416人　高齢化率45.9%　小学生46人で年々減少　地区内に商店なくスーパーまでは約10km）

永年会員表彰者



松江地区　木村 久美子 さん

県を退職後、松江地区幹事、平成25年からは「ぼたんの会」会長として、会をけん引していただきました。ご自身の健康づくりの傍ら、地域の役員が男性ばかりという中で、地区社会福祉協議会の会長など地域の活動にも積極的に取り組んでおられます。（紹介文：岩本美智子）

退職後も“地域に根差した保健師活動をしたい”という熱い思いで発足した「ぼたんの会」。現在も「生涯現役であり続けたい」という会員の思いが、活動の継続と新たな挑戦の原動力となっています。専門性を維持しながら地域住民とともに歩む姿勢を持ち続け、使命感を持って活動しています。

私は、発足当時から役員として携わり、うち10年間は会長として会員の皆様に支えられ活動してきました。島根の歴史ある保健師活動を「保健師のあゆみ伝承事業」として後輩に伝えることができました。全国の在宅保健師等会で初の「保健文化賞」、新型コロナウイルス感染症の支援活動に対する「ヘルシー・ソサエティ賞」の受賞は、全国的に注目を浴び、誇りと共に責任の重さを感じました。それと同時に、県・市町村との連携は更に深まり、活動をより推進させるきっかけとなりました。また、受賞の記事を読まれた保健師を目指す高校生から、力強いエールをいただき、改めて魅力ある活動を後輩へ繋ぐことが私たちの使命であると感じています。今後も、生涯現役「健康長寿しまね」の推進役として一翼を担っていきたいと思います。

「ぼたんの会」設立25周年によせて

島根県国民健康保険団体連合会

事務局長　山根　良平

島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」が設立25周年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

保健・医療・介護分野におけるデジタル化が進む今だからこそ、住民の方に丁寧に寄り添う保健活動の重要性も高まっているのではないかと感じます。会員の皆様におかれましては、引き続き、地域の保健活動の担い手として、ご支援を賜りたく存じます。

今後の「ぼたんの会」のさらなる発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

松江地区

池田　孝子

「ぼたんの会」と共に年を重ねて88歳になります。25周年とは、感慨深いものがあります。私たちが、健康づくり活動を地域住民と共に行ってきたことは、後輩のみなさんの活動につながっていることと思います。次の節目30周年に向けて、力を合わせていきましょう。

隠岐地区

富谷　恵子・濱見　優子
中川　英美・山本久美子

令和元年に「楽しく活動を！」と入会し、早７年になります。３町村巡回の連絡会でお互いに元気をもらい、現役世代との交流で若返り、住民の方とふれあって生きがいを感じながら、自分たち流の活動を続けていきたいと話しています。

出雲地区

原田喜美子

退職して早くも20余年になりました。保健師在職中のこと、嘱託勤務中のこと懐かしく思い出します。退職後から出雲市の思春期の不登校・ひきこもりの居場所のボランティア活動を継続しています。不登校の子どもたちが増加している中でスタッフとして、何をどう支援していくのか考えているこの頃です。

雲南地区

大家眞木子

各組織での勤務を退職して、職業の性質上退職後も地域に根づいた活動を続けたい、必要であると思われた先輩方の熱意と努力が実っての「ぼたんの会」。そして、脈々と続けられてきた会員の努力で25周年という節目の時を迎えられたのはとても嬉しいですね。そして、折々の役員をはじめ、会員の努力。また、活動では県内各地で組織的に続いているのが素晴らしいと思います。また、保健文化賞という大きな賞をいただいた島根。さすが神の地元（笑）と思っても良いでしょうか。

今後も25年という歴史を大切にしながら次への一歩を歩んでいきましょうね。

大田地区

尾村　美保

元気だった夫がたった３ヶ月の闘病生活で生涯を閉じました。その間在宅療養もあり、介護保険サービスの利用で夫に寄り添うことができました。スタッフの皆様に感謝しています。その介護保険制度スタート前夜、私はその現場に、仲間と残業の日々、夫が支えてくれたこと等々思い出しています。

浜田地区

馬場真由美

「ぼたんの会」25周年お祝い申し上げます。四半世紀にわたり継続していることは有り難いことと、国保連合会事務局を始め関係者の皆様に感謝ばかりです。私、２年前に夫を見送り70代はシングルライフで、地域の皆様に支えていただく日々を過ごしています。地域のサロンでは何歳になっても学ぶことの喜びをかみしめています。

益田地区

長野知恵子

「ぼたんの会」は人生の宝

会員歴18年、地区幹事歴17年。地区活動として、ゴムバンド体操教室と益田市及び津和野町の保健事業への支援に関わっている。ゴムバンド体操教室は入会時から、市町の保健事業は令和元年からの特定保健指導事業である。現役から継続した地区住民の健康づくりへのサポートにやりがいや生きがいを感じ、明日への活力となっている。それは「宝」という名の財産である。このかけがえのない「宝」をさらに大きく、太く、輝けるものにしていきたい。

令和８年度「ぼたんの会」総会


活動報告をする山本副会長

令和８年５月15日、松江市「ホテル白鳥」において、式典に先立ち、総会を開催しました。

議案

1．令和７年度活動報告　2．令和７年度決算報告
3．令和８年度活動計画　4．令和８年度予算
5．役員体制


議長 足立幹事（雲南地区）


監査 松坂監事（松江地区）


進行 中村幹事（大田地区）

雲南地区　足立幹事を議長に選任。議案１～５について審議し、全て承認されました。

会員の活動紹介

大田市社会福祉協議会の応援グッズ作成ボランティア「ひよりの会」に参加しています

平成30年に発生した島根県西部地震の際、輪島市災害ボランティアの会から「和みバッグ」をいただいたことをきっかけに「ひよりの会」の活動が始まりました。「和みバッグ」を参考に、大田市でも、次の被災地へエールと笑顔を届ける応援グッズ「ひよりぶくろ」を作成しています。

令和２年の九州豪雨に際し、八代市に「ひよりぶくろ」を送ったことで縁が繋がり、以降も輪島、大田、八代と交流が継続しています。





ひよりぶくろ
寄付された着物地で作ったトートバッグ、アクリルたわし、絵手紙、小物入れ、スカーフ、ランチョンマット（帯地）等が入っています。

先日、熊本地震支援ミーティングが開催され、「ひよりの会」としても段階的にできることから支援していこうと、思いを共有することができました。

まずできることの手始めとして、熊本の辛子蓮根、辛子蓮根チップス、熊本ラーメン等を購入し、地元の物を食べて支援の一助になればと取り寄せました。

編集後記

７月28日、熊本県で震度７の地震が発生しました。以降８月13日の千葉県をはじめ全国各地で豪雨災害も発生し、多数の方々が被災されています。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

会報第23号は「ぼたんの会」設立25周年記念特集号として、記念式典の状況を中心に構成しております。年１回の発行ではありますが、会長を先頭に役員及び会員の皆様の地域に根差した身近な活動状況が掲載されております。近年コロナ禍で活動にも影響が出ておりましたが、無理をせず諦めず地域に沿った活動を継続。「どんな環境にあろうと、できることをできる形で、在宅保健師等として健康づくりの支援に関わっていける」それが私たちの強みでしょうか。

広報委員　安野　怜子

役員体制

「ぼたんの会」役員		
会長		永江尚美
副会長		山本久美子
地区幹事	松江	徳若光代
	隠岐	山本久美子
	出雲	加茂尚美
	雲南	足立清子
	大田	中村郁子
	浜田	尾原直子
	益田	長野知恵子
監事		松坂由貴子
		青戸有子

設立25周年記念事業実行委員	
委員	永江尚美
委員	山本久美子
委員	徳若光代
委員	勝部かつこ

広報委員	
松江地区	岩本美智子
出雲地区	勝部かつこ
大田地区	安野怜子